



# 吉原 ロータリークラブ 会報

Engage Rotary Change Lives  
「ロータリーを 実践し みんなに豊かな人生を」  
http://www.techtron.jp/yoshiwararc



■RI会長 ロンDバートン ■第2620地区ガバナー 志田 洪顯 ■吉原RC会長 金子 真平 ■幹事 井出 誠  
■事務所・例会所/富士市青島200-1 富士市農協会館ホワイトパレス内 ■電話/0545-51-0678 ■例会日時/毎週木曜日12時30分~13時30分

## 会長あいさつ

皆様こんにちは、2週に渡って週末に降り続いた大雪の為、東名高速道路をはじめとして各地の道路が寸断されて交通網が麻痺してしまいました。雪のため道路上で動きがとれなくなった自動車の列が、あちらこちらで見られて本当に大変な状態になっておりました。このような中であって、テレビで放映されたある地域の人たちは、住民の方々が炊き出しでおにぎり等をつくり、雪のなかで動きのとれないトラックの運転手に配っている場面でした。これぞ助け合いの精神で、ロータリーが目指しているひとつであります。災害はいつやってくるかわからないとよく言われますが、今回の事を教訓にして防災用品や備蓄食糧もしっかりと用意しなければならないと思った次第です。雪のため被災された皆様方には心よりお見舞い申し上げます。



ところで、第22回オリンピック冬季競技大会が開催されており、連日熱戦が繰り広げられています。テレビの放送が朝早い寝不足気味の方もおられる事と思います。ソチ冬季五輪で日本勢の金メダル第1号に輝いた羽生結弦選手はフィギュアスケート日本男子で初の五輪王者となりました。また、スキージャンプのラージヒルで2位に入った葛西紀明選手(41)は冬季五輪の日本人メダリスト最年長記録を更新しました。これまでの日本の冬季五輪最年長メダリストは、2010年バンクーバー大会でスピードスケート女子団体追い抜きの2位になった田畑真紀選手(39)です。葛西選手は7大会連続出場で、今回のソチオリンピックでは個人の銀メダルとジャンプ団体の銅メダルの二つを獲得しました。外国の競技者から「レジェンド」と呼ばれ尊敬されており、金メダルに向かってたゆまぬ努力をする姿には驚きと共に敬意を表する次第です。それから、金メダルの期待がかかった高梨沙羅選手には途方もなく大きな重圧がかかった事を思うと4位でインタビューを受けた時の、涙をこらえた顔を忘れる事が出来ません。必ずや次のオリンピックでリベンジして、大きな花を咲かせてくれることでしょう。他にもたくさん感動をくれるオリンピックはじつに素晴らしい大会だと思います。残っている競技での日本人選手の活躍を祈念して会長挨拶と致します。

## 幹事報告

本日は、4項目の報告があります

- (1)2月13日、夜間例会(ファイヤーサイドミーティング) ごくろう様でした。  
テーマ「例会を盛り上げるいろいろな妙案」でした。リーダーの皆さんから建設的なご意見があったと聞きました。ありがとうございました。  
貴重なご意見については、今、整理中ですので次週お知らせします。

- (2)2月18日(火)は、5クラブの行事、麻雀大会でした。ごくろう様でした。  
(3)国際ロータリー第2620地区、ガバナーエレクト岡本一八様より高橋堯昭君に2013年~2015年度の地区顧問委員会委員の委嘱状が届いています。授与式を行いたいと思いますが、本日、欠席ですので割愛します。  
(4)理事・役員会義は、2月27日(木)ホワイトパレスにて11時より理事、役員会、11時30分より理事、役員、委員長会議を行います。

## 来輪報告

1. ガバナーエレクト事務所より  
第2回LTM (次期リーダーシップチームミーティング) の案内  
【日時】3月15日(土) 受付 14:00  
LTM会議 15:00~18:00  
懇親会 18:00~20:00  
【場所】オークラオクトシティホテル浜松  
懇親会費 一人10,000円  
締切2月28日(金)まで。  
対象者は、地区役員の曾根会員となります。  
2. よねやまハイライト

## 例会変更

沼津 3/21 祝日休会 MU行いません。  
沼津西 3/27→3/29 花見例会 MU11:30~12:30

## 週報受信

沼津、富士、1月分。

## 出席報告

第2883回 実出席者数45名 会員数 62名

例会回数	計算会員	出席	欠席	MU	出席比率
第2883	56名	45名	11名		暫定80.36%
第2881	57名	48名	9名	3名	確定84.21%

## 本日の欠席者

安藤秀彦君 遠藤鉄弥君 大坂敏隆君 小豆川善久君  
杉本一成君 鈴木秀宣君 田口雅己君 立石健二君  
長岡路子君 宮本正敏君 矢部達樹君

## 第2881回欠席の補正者

稲葉芳典君 曾根真人君 増田正之君

## ゲスト

加藤 昭夫氏 駿河郷土史研究会会長(富士市日口友好協会会長) 卓話

会員のお祝い

入会記念日

矢部達樹君

会員誕生日

深澤大介君

創業記念日

川口 哲君

配偶者誕生日

高橋昭子さん (高橋堯昭君夫人)  
小糸良恵さん (小糸吉則君夫人)



特別スマイル

- 白井幹朗君 4人目の孫(女兒)が18日無事生まれました。
- 志田稔夫君 5クラブ麻雀大会で僅差で個人優勝させて頂きました。素敵なランありがとうございました。
- 西村清常君 2/16にはキラク会の皆様に助けられて久しぶりに1ラウンド廻ることが出来ました。
- 田中 祐君 先週のファイヤーサイドミーティングかぜでドタキャンしました。ごめんなさい。
- 増田正之君 井出幹事さん、地区大会の写真ありがとうございます。

- 木村昭雄君 良い記念になります。今日は早退させてもらいます。誕生日のきれいなランお贈り頂きありがとうございます。戦時中を含めて何度か死に目にあいましたが、何とかこの年まで生きて来ました。感謝しています。残る生涯は何時か人々のお役に立つよう、或ることに向って毎日努力しています。
- 荻田丈仁君 議会が始まりました。頑張ります!
- 小口頼一君 静岡あさひTV「とびっきり食堂」に出していました。
- 杉山隆正君 早退スマイル
- 高井計弘君 孫が生まれました。大雪の都心を通り、会いに行きました。やはり可愛いものです。
- 近藤洋平君 本日から中途採用で新入社員が入りました。しっかりきたえて立派な営業マンに上げます。
- 平井秀樹君 誕生日のお花ありがとうございます。今まで出会った皆様と全ての事に感謝します。
- D グループ 先週のファイヤーサイドミーティング有意義な議論ができました。

スマイル会計	本日のスマイル	¥ 29,000
	スマイルの累計	¥792,800



卓 話

駿河郷土史研究会会長  
加藤 昭夫 氏

「富士山の“すてき”を発信」

富士市には、世界文化遺産の構成資産はありませんが、富士山にまつわるすてきな話があります。かぐや姫、山部赤人が詠んだ万葉歌、富士塚など、今日のお話をお聞きになり、全国へ発信していただければ幸いです。

1. 富士山に登ったかぐや姫

全国的に知られている、月に帰ったかぐや姫とは違う伝説が富士にはあります。これらは東泉院伝来の『富士山大縁起(赫夜姫説話)』、白院禅師の『夢量壽禅寺草創記』また、『皇国地誌』にほぼ同じようなお話が書かれています。

『富士山大縁起』では、駿河の国、乗馬の里に老夫婦が住んでおり、箕を作って生活をしていました。以下、全国的なお話と同じですが、天皇のお后になることを望まず、富士山にある洞窟に入るようになった。人々は別れを悲しみ涙を流して泣きました。今その場所を「憂涙河」(潤井川)と呼んでいます。かぐや姫は、人々との別れを惜しみながら、富士山の深い山中へと入って行きました。実はかぐや姫は、神仏がこの世に姿を現した化身の姿だったのです。かぐや姫は富士山の山頂に至ると、釈迦岳の南の角の大岩の岩屋の中へと入って行きました。人々はこれ以後、富士山の頂上へ登ることがゆるされたのです。

そもそもかぐや姫は富士山のご神体であり、世の中の人々を救うために女性の姿の浅間大菩薩という神になって、この世に現れたのでした。全国的には富士山のご神体は木花咲耶姫(コノハナサクヤヒメ)と言われていますが、富士ではかぐや姫と言われてます。『夢量壽禅寺草創記』では、かぐや姫は天子の求愛を振り切るためコノシロと綿の実を焼いて、天子に姫が死んでそれを焼く匂いと思わせた。天子は姫の死を悲しんで涙を流した。その後間もなくかぐや姫は富士山頂の岩窟に身を隠しました。里の人々は姫を浅間大士と敬っています。『皇国地誌』では、国司は姫のもとに押しかけ、数年間供に暮らしたが、ある時、姫は国司に暇をもらい、富士山の仙洞に帰りたいと願う出るが許可されず、一つの箱を残して去ってしまった。国司は姫の後を追って富士山の頂きまで来たが、もはや姫は人間ではなく天女であることを知った国司は、悲しみの余り姫の残した箱を抱えて池に身を投じて死んでしまいました。



2. 赤人を魅了した富士山の歌

田子浦の「ふじのくに田子の浦みなと公園」に山部赤人の碑があります。カーフェリー乗り場から昭和24年にこの場所に移されました。歌碑には万葉仮名で刻字されています。

「田兒之浦從 打出而見者 真白衣 不盡能高嶺 雪霰家留」

(たごのうらゆ うちいでてみれば ましろにぞ ふじのたかねに ゆきはふりける)

「田子の浦の所在地」や「歌が詠まれた場所」については諸説あり、議論的ですが、田子の浦の場所は、現在では富士市田子浦近辺の海岸一帯をさしていますが、古来においてはもっと広い範囲を指していたと思われる。また、「田子の浦ゆ」の「ゆ」の解釈も「位置や場所を示す」「時間や経過を示す」等の諸説もありますが、富士市民としては、現在の富士市田子浦で詠まれた歌であると思いたい。



3. 禅定の願いを込めた富士塚

元吉原地区砂山に「富士塚」があります。いつ出来たかは不明ですが、吉原湊に上陸した富士道者が、浜で禊をし、石を一つずつ供えて、その後、吉原、大淵を経て村山浅間に参拝し、富士山に登りました。頂上には浅間神社が祀られています。現在の富士塚は昭和51年に鈴川地区の人々によって、復元されたものです。今、「海拔0メートルから富士山を登ろう」ということで、富士塚より富士登山しようという活動が立ち上がっています。

富士講の「富士塚」は、登山禁制の女人や病人、老年者がだれでも参拝でき、富士登拝と同様にご利益が得られるよう身近なところに構築された模倣富士山です。富士講が盛んになった江戸時代に多く作られています。鈴川の富士塚は江戸期に造られた富士塚より前に造られました。

